

8地区



各地区で農業祭にぎわう

数年ぶりの開催 地域農業の恵みにふれる

当JAは11月から12月にかけて、管内各地区で農業祭を開催しました。数年ぶりの開催で、各地区特色あるイベントを実施し大勢の来場者でにぎわいました。

富士地区では14支店で同日に斉開催。御殿場地区では農産物品評会に約950点の出品があり即売は人気を集めて完売となりました。その他の地区もイチゴやミカン、茶、米、サツマイモなど特産物の販売や青壮年部・女性部・生産者組織・JA職員による模擬店など、来場者は地場農産物の魅力にふれ楽しんでいました。2月5日には、あいら伊豆地区の下多賀支店で農業祭を開催予定です。



農産物品評会・出品展示の様子(御殿場地区)



地元牛乳・乳製品の販売で酪農支援 (三島函南地区)

産直市会員が旬の地場農産物を即売 (富士地区)



青壮年部が特産イチゴ・ミニトマトを即売 (伊豆の国地区)

8地区



農家組合員の意思反映へ

生産組織148組織とJA役職員が意見交換会

当JAは8月から11月にかけて、主要6品目(イチゴ・柑橘(かんきつ)・ワサビ・花き・水稲・畜産)と地域戦略品目24品目の計30品目で、生産組織148組織と当JA役職員との意見交換会を管内8地区で開催しました。

生産組織代表者と藤沼和明常務、清信昭常務、トップ営農指導員、営農・販売・経済部、地区本部職員らが出席。生産組織で取り組みたい項目など生産者の声を聞き、問題点を共有して解決策を検討。寄せられた意見は当JA事業計画に反映していきます。



生産者と藤沼常務(左)をはじめ役職員が意見交換

8地区



食の安全・安心体制を確認

万が一への危機管理に意識高める

11月10日、沼津市の本店で「食の安全・安心対策本部会議」を開きました。食の安全・安心にかかる取り組み計画などについて協議した他、食の事故想定訓練も行い、万が一への備えを確認しました。

会議には、常勤役員と幹部職員が参加。事故防止の取り組みや事故発生時の危機管理方法を協議し、安全・安心に対する体制を固めました。あわせて、事故発生時の被害を最小限に抑える情報管理や報道発表の訓練も行い、安全・安心への意識を高めました。



食の安全・安心への意識高揚を論じる鈴木正三組合長

8地区



管内の生産者・児童が多数入賞

全国や県品評会、共進会、JA共済小・中学生書道・交通安全ポスターコンクールで各賞を受賞

8月から12月にかけて、ワサビや米、イチゴなどの全国・県品評会、畜産共進会、また、令和4年度全国・静岡県JA共済 小・中学生書道・交通安全ポスターコンクールが行われました。各賞の上位入賞者は次の皆さまです。

敬称略、かつこ内は地区名

第37回全国わさび品評会	
特賞・農林水産大臣賞	鈴木昭弘(伊豆の国)
特賞・林野庁長官賞	浅田充康(伊豆の国)
特賞・全国農業協同組合連合会理事長賞	山口長之(伊豆の国)
特賞・全国わさび生産者協議会長賞	井上千明(伊豆の国)
優秀賞	伊澤昌隆(伊豆の国)、勝又京治(御殿場)、浅田憲太郎(伊豆の国)、安藤良孝(伊豆の国)、塩谷美博(伊豆の国)、塩谷修(伊豆の国)、浅田利哉(伊豆の国)、西川貴子(伊豆の国)、田代修二(御殿場)、高羽文隆(伊豆太陽)
奨励賞	石渡敏弘(伊豆の国)、稲葉泰助(伊豆太陽)、瀬戸久志(御殿場)、山本栄万(伊豆太陽)、浅田正孝(伊豆の国)、鍵山光男(伊豆の国)、高村範利(伊豆の国)

第19回お米日本一コンテスト in しずおか	
最高金賞・静岡県知事賞	小見山益彦(御殿場)
最高金賞	御殿場・小山エコ栽培米出荷組合 遠藤博雄(御殿場)

第24回米・食味分析鑑定コンクール	
特別優秀賞	小山町認定農業者協議会 遠藤博雄(御殿場)、勝又友之(御殿場)

第33回静岡県いちご果実品評会	
金賞1席・農林水産大臣賞	高田祐樹(伊豆の国)
金賞2席・関東農政局長賞	永倉千春(伊豆の国)
金賞3席・静岡県知事賞	神田豊通(伊豆の国)
銀賞	遠藤誠(伊豆の国)、杉山雅彦(伊豆の国)、永倉玄太(伊豆の国)
銅賞	山田尚志(伊豆の国)、植松稔(伊豆の国)、勝又純也(なんすん)、荻照雄(富士宮)、土屋雅宏(伊豆の国)、會田清(伊豆太陽)、下田寛之(伊豆の国)、眞野育朗(伊豆の国)、鈴木和也(三島函南)

第96回静岡県畜産共進会・乳牛の部	
静岡県知事賞・ジュニアチャンピオン	渡辺稔(伊豆の国)
最優秀賞(各部門)	渡辺稔(伊豆の国)、高橋実徳(伊豆の国)
優秀賞(各部門)	田中山FARM(伊豆の国)、高橋実徳(伊豆の国)、岩城正盛(三島函南)、渡辺稔(伊豆の国)

第96回静岡県畜産共進会・肉牛の部	
優秀賞(各部門)	加藤徳夫(なんすん)、株富士SUNRISE牧場(なんすん)

第57回静岡県茶品評会	
2等級	小林園 小林裕直(富士)、南山二園 後藤裕揮(なんすん)
3等級	小林園 小林由朋(富士)、荒井園 荒井譲(御殿場)

第31回静岡県キウイフルーツ果実品評会	
銀賞2席	日吉義茂(あいら伊豆)
銅賞	伊代野重之(あいら伊豆)

令和4年度JA共済 小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクール		
全国	銀賞・交通安全ポスターの部	佐野千維奈(沼津市立沼津高等学校中等部2年)
	佳作・書道の部	佐野圭(富士市立吉永第一小学校6年)
静岡県	金賞・交通安全ポスターの部	佐野千維奈(沼津市立沼津高等学校中等部2年)
	金賞・交通安全ポスターの部	上林守(伊豆の国市立長岡南小学校4年)
	金賞・書道の部	佐野圭(富士市立吉永第一小学校6年)

ふじ伊豆 トピックス

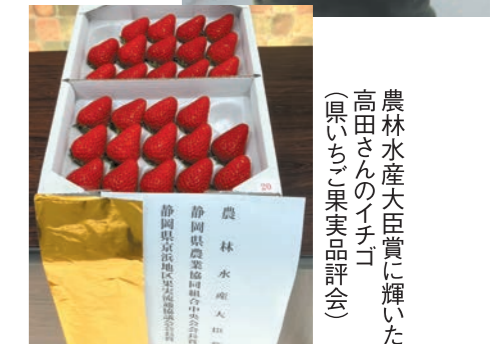
FUJI IZU TOPICS



農林水産大臣賞の鈴木さん (全国わさび品評会)



「歓喜の風」が県知事賞 (お米日本一コンテスト) 小見山さんの



農林水産大臣賞に輝いた 高田さんのイチゴ (県いちご果実品評会)



県知事賞・ジュニアチャンピオンの渡辺さん(右) (県畜産共進会)



小・中学生 書道・交通安全ポスターコンクールの入賞作品はこちら (静岡県のJAホームページへ)

御殿場

2 つくば未来 2025
8 農産物・畜産物の生産・販売
12 つくば未来 2025

冬の“スイーツ”干し芋販売中
御殿場地区・干し芋 年々人気上昇

御殿場地区の干し芋販売が12月9日から始まっています。販売初日の「ファーマーズ御殿場」には干し芋を買い求める来店者の行列ができ、まとめ買いをする人も多く見られました。

同地区の干し芋は、きれいな黄色の半生タイプ。添加物を一切使用せず、安全・安心な冬の“スイーツ”として全国から注文が寄せられています。販売は3月下旬頃まで、「ファーマーズ御殿場」や県内スーパー、通販サイト「JAタウン」でも取り扱っています。



干し芋を買い求める来店者(右)



なんすん

2 つくば未来 2025
8 農産物・畜産物の生産・販売
12 つくば未来 2025

学校給食に地場産米を推進
「すすく米」の普及と食農教育の充実へ

当JAとなんすん地区管内4市町村などで構成する農業振興協議会は11月22日、同地域で生産する米をブレンドした「すすく米」の推進について意見交換を行いました。令和5年度以降の学校給食への提供を目指します。

米の消費量減少により、水田の荒廃化や後継者不足が深刻化。同取り組みを通じて、顔の見える安全・安心と生産者の安定経営、地産地消の促進を図ります。鈴木正三組合長は「日本食文化の源である米を守るため、地産地消は必要不可欠。積極的な協力を」と訴えました。



JA・県・4市町などで地場産米の振興について意見交換

三島函南

7 環境と自然の保全
11 農産物・畜産物の生産・販売
12 つくば未来 2025

農業用廃ビニールを燃料に
農業の廃棄物を農作業のエネルギーに

三島函南地区本部は、生産者グループ「箱根西麓のうみんず」の協力のもと、地元企業と連携し廃プラスチックから作る軽油相当の燃料の利用試験を行っています。

12月12日に生産者のほ場で、従来の軽油に同事業で製造した燃料を混合して、トラクターの試運転を実施。馬力の低下なども感じず、問題なく使えることを確認しました。廃棄される肥料袋やマルチフィルムを使い、環境に配慮した循環型農業の実現を目指すと共に、燃油価格高騰対策として経営支援にもつなげていきます。



製造したオイルを混合した燃料でトラクターの試運転

伊豆太陽

12 つくば未来 2025

柑橘の出荷始まる
柑橘有機農法部会が園地巡回

伊豆太陽地区の柑橘有機農法部会は柑橘の出荷時期を迎えています。1月上旬から温州ミカンを約12トン、夏柑は3月下旬から約4トン、ニューサマーオレンジは4月下旬から約9.8トンの出荷を見込んでいます。

11月には、東伊豆農経センターが東伊豆町と河津町で同部会の園地巡回を実施。会員らと出荷量の予測や生育状況などを確認しました。同部会では減農薬による安全・安心な生産と販売に努め、農業使用に配慮した生産を行っています。



園地巡回で生育状況などを確認する生産者ら

富士

8 農産物・畜産物の生産・販売
12 つくば未来 2025

富士梨増収へ 冬期せん定学ぶ
生産者らが講習会でせん定箇所を再確認

富士地区梨部会は11月24日、生産技術の向上と増収を図ろうと、鈴木史浩会長のほ場で冬期せん定講習会を開き、生産者やJA職員など25人が参加しました。

講師の県農林技術研究所果樹研究センター・大槻拓海さんが来季に実をつける側枝や花芽を見て実際にせん定して再確認。大槻さんは「『幸水』の側枝は3年以内に新しい枝に変え、側枝に7個以上の実をつけることが目標」と説明しました。富士地区では主に贈答用で「幸水」や「豊水」などが年間約400トン生産されています。



講師(中央)が実際にせん定してせん定箇所を再確認

富士宮

7 環境と自然の保全
9 産業と地域振興の推進
17 ひと・まちづくり

富士・富士宮プロパンガスセンター開設
2地区統合 組合員・地域の生活インフラ支える

富士と富士宮地区のプロパンガスセンターを統合し、11月から新たに「富士・富士宮プロパンガスセンター」を富士宮地区の富士根支店の敷地内に開設しました。

家庭へのプロパンガス供給や保安管理をはじめ、ガス器具の販売・住宅設備のリフォームなどを取り扱っています。統合拠点化して専門担当者をそろえ機能を集約することで、コストの削減と事業の効率化、質の高いサービス提供の体制を整えました。同センターでは年間供給額3億5千万円を目指します。



富士・富士宮プロパンガスセンターを視察する役員

伊豆の国

2 つくば未来 2025
12 つくば未来 2025

いちご狩りのシーズン到来
江間・伊豆長岡いちご狩りが開園

伊豆の国地区の江間いちご狩りと伊豆長岡いちご狩りが今期も開園を迎えました。今期はイチゴの生育にやや遅れがあるものの、甘み、色づきも良く上々の仕上がりがります。

江間いちご狩りでは今期からホームページをリニューアル。オンラインで事前の来園予約が可能になりました。江間いちご狩り組合の岩田行彦組合長は「赤く大きく熟したおいしいイチゴをおなかいっぱいに味わっていただき、良い思い出にしてほしい」と話しました。



完熟イチゴが30分食べ放題

※最新の開園状況は各いちご狩りホームページをご確認ください

あいら伊豆

12 つくば未来 2025
17 ひと・まちづくり

地域の食文化を次代につなぐ
女性部が特産ダイダイで伝統料理「祭りずし」

女性部あいら伊豆地区本部は11月29日、特産ダイダイを使った「祭りずし」の料理講習会を伊東市の三の原調理施設で開きました。

同講習会は、年8回開く女性講座の一環で開催。講師は女性部員が務め、「祭りずし」の他にもJA静岡厚生連・山口友里さん考案のダイダイを使った「すまし汁」や「からしあえ」、「スイートポテト」の3品にも挑戦しました。

小川富子部長は「今後も地域の食文化を守り、次世代につなげる活動をしていきたい」と話しました。



女性部員が講師となって「祭りずし」を伝承